

# 登米市 さくら ガイド

桜の季節がやってきます。  
登米市内に数ある桜の名所を紹介します。  
春の訪れを感じながら、お花見に出かけてみませんか。

※昨年以前の写真を掲載しています  
※桜などの開花・お花見情報は、市公式ホームページで更新します  
【問い合わせ】まちづくり推進部観光シティプロモーション課  
☎ 0220(23)7331



## 鹿ヶ城公園

(迫町佐沼字内町12)

古くから桜の名所として親しまれる鹿ヶ城公園内には約100本の桜があり、満開になると公園全体が薄桃色に染まり桜の山となります。



## 長沼フットピア トヨタの丘公園

(迫町北方天形161-84)

大きなオランダ風車が目印の公園周辺には、長沼を囲む約900本もの桜が咲き誇ります。



## みなみかた千本桜

(南方町大袋堤防/市道高石樋沼線)

約6kmにおよぶ約千本の桜並木は圧巻の一言。桜のトンネルを通ると、空を埋め尽くす美しい花と景色を楽しめます。ドライブコースにも最適です。



## 山王の桜

(迫町北方字相ヶ沢89付近)

坂上田村麻呂が蝦夷征伐の凱旋記念に植えたといわれています。幾代かを経て現在の木は樹齢推定600年。幹が3つに割れ、大きく枝を広げています。



## 登米の武家屋敷通り

(登米町寺池桜小路)

明治や江戸の建物が多く残されている「みやぎの明治村」。武家屋敷通りの塀を超えて咲く枝垂れ桜の美しさは格別です。



## 長谷寺の遮那桜

(中田町浅水字長谷山288)

文治年間(1185~1189年)に、源義経お手植えとされる桜。義経の幼名である「遮那王」と山号「遮那山」から「遮那桜」として言い伝えられています。



## 不老仙館

(東和町米谷字ぜん荷65)

伊達家十三代慶邦公の宿泊所として嘉永5年(1852年)に建築された不老仙館の庭園では、桜だけでなく、四季折々の花々を楽しむことができます。

## 平筒沼ふれあい公園

(米山町字桜岡貝待井581-2)

平筒沼の周囲に植えられた約700本の桜が、一斉に咲き誇ります。桜まつりの期間中は、ライトアップされ、水面に映る夜桜が幻想的な空間を演出します。

令和4年3月に発生した福島県沖地震により損傷し、利用を停止していた平筒沼ふれあい公園浮棧橋(平筒沼ふれあい橋)の改修工事が完了しました。沼の中央に架けられた全長188mのふれあい橋からは沼の桜を一望することができます。